

飛び出せ20代

みんな原石宝石になる世代!!

たかはし あゆみ 高橋 亜由美さん 24歳

生年月日 昭和61年6月20日

職 場 高橋養豚場

趣 味 バレーボール

好きな歌手 A I

実家の養豚業に参入して、一年半が経過しました。
夢は、食べた人が元気が出る美味しい黒豚肉をつくって地元を提供することです。
大崎を盛り上げたいと同じ志をもった仲間との出会いがあり、『ひこねっとわーく』を立ち上げる事ができました。少しでも地元に貢献できるよう頑張ります。



ばっちょっど!

がんばる個人・グループを紹介します

福島県へ支援物資を搬送

稲葉繁実さん 52歳

井俣で農業機械業を営む稲葉繁実さんは、福島県へ支援物資を搬送しました。

福島県に在住する同業の友人が開設しているホームページで「原発の危険を逃れるため、避難生活者が多いが、直接的な被害を受けていないことから物資が思うように届かない」という情報を知り、共通の友だちと物資を届けることを決めたそうです。

町内の事業所や家庭に手作りのチラシを配布し、支援の協力を呼びかけたところ、水や食料、衣類など5tトラックいっぱいもの物資を多くの

方々から提供いただいたそうです。トラックで大阪までフェリーを利用し、その後陸路で福島県へ向かいました。

物資を配布した、いわき市立小中学校では、毎日、先生方が放射能測定器で数値を気にしながら、授業を行うなど緊迫した生活が続いてたそうです。

稲葉さんは、「距離、時間なども含め一人でできる事には限界があるが、物資を集める際に提供者から少しでも力になれば」とたくさんの温かい心を感じた。また機会があれば、物資を届けたい」と話されました。



▲支援物資を積み込んだ5tトラックで福島県へ向け出発する大崎機械店の稲葉繁実さん



▲物資を届けた福島県いわき市立小白井小中学校の教員、生徒のみなさん